

北九州市発 インドネシア共和国
海外技術協力
生ごみコンポストによる廃棄物の資源化・
減量化とコミュニティの改善

平成19年10月18日

株式会社ジェイペック

若松環境研究所



(株)ジェイパックが保有する既存堆肥化技術を革新的適正技術に改良



メタンガス的大幅な削減を実現
住環境の劇的な改善

Takakura Home Method (THM)の開発
家庭用コンポスト容器

(材料)

- ・通気性の良い籠・バスケット
- ・虫の侵入を防ぐ内張り(リサイクルカーペット)

・NM

・スコップ

(使い方)

各家庭で生ごみを毎日投入、NMに混ぜ込む



NM (Native Microorganism): 発酵菌群の製造

初穀

米ぬか

水

発酵食品

腐葉土

糖類



混合して
成形後発酵

Takakura Susun Method (TSM)の開発
コミュニティレベル堆肥化装置

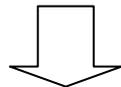
(材料)

- ・コンテナケース
- ・ココヤシ製マット

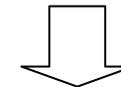
・NM

(使い方)

生ごみとNMを混合破碎後ケースに入れて積み重ねて発酵



市場ごみとNMを混合
破碎後 成形発酵



発芽インデックス試験



市場ごみコンポストセンター
(10m³/日処理可能)



7日間で完成

コミュニティレベル(1000世帯対象)コンポストセンター



10日間で完成

発芽インデックスは日本
国内では商品化済

品質試験



町内会の変化 衛生環境の劇的な向上と環境意識の向上

取り組み前



現在の様子



コンポストへの取り組みによるステークホルダーのベネフィット関係

